原田英語の英検２級・準１級・１級ファイナルチェックリスト ／ 完全版

英検2級 二次 ファイナルチェック

7分の流れは毎回同じ。型と声で押し切る

https://www.haradaeigo.com/final-check/#/g/2kyu/2ji

これだけは絶対

1 **No.1は指示語を戻して答える**
such / this は前の文の中身に戻す。How → By ~ing、Why → Because＋主語＋動詞で。

2 **No.2は1コマ2文・過去形**
カードの文から始め、矢印の語句は文頭へ。動作は過去進行形、吹き出しは間接話法で。

3 **立場が先、理由2文、沈黙ゼロ**
No.3・4は Yes / I agree を先に言い切って理由2文。詰まったら Let me see. で声をつなぐ。

目から鱗

× ~~面接は英語の正確さだけで決まる~~

○ **態度（アティチュード）も目安3点で採点される**

入室の Hello. から退室の Goodbye. まで、声と目線で「話す意欲」を見せ続ける。

× ~~No.1は本文をそのまま読めばいい~~

○ **丸読みは「質問への答えの形」になっていない**

How なら By ~ing、Why なら Because＋主語＋動詞。such / this は中身に戻す。

× ~~聞き返したら即減点~~

○ **自然な聞き返しは、会話を続ける姿勢として受け取られやすい**

固まるより、質問の直後に I'm sorry, could you repeat the question? と言う。

× ~~No.2は絵を細かく全部説明する~~

○ **点になるのは人物の動作と吹き出し。背景は不要**

各コマ「①動作 ②吹き出し・気持ち」の2文だけ。家具や天気は言わなくていい。

✕ ~~No.3・4は本心で答えないとダメ~~

◯ **見られるのは中身の正しさより、立場と理由の筋**

英語で理由を2文言いやすい方を選ぶ。迷っている時間がいちばんもったいない。

✕ ~~音読は速く読むほど上手に聞こえる~~

◯ **評価は区切りと発音。速いと語尾が消えて崩れる**

意味のまとまりで区切り、ふだんの話す速さの8割で。タイトルから読む。

✕ ~~準備の20秒はメモを取ればいい~~

◯ **面接中はメモ・撮影・録音が禁止（公式）**

黙読20秒・No.2の準備20秒は頭の中だけで。出だしの一言を決めておく。

✕ ~~Why not? と聞かれたら失敗のサイン~~

◯ **No と答えたら理由を聞くのが普通の流れ**

Why? でも Why not? でも、自分が選んだ立場の理由を2文言えばOK。

入室〜退室の台本（約7分）

面接委員が言うこととあなたが言うことを、順番どおりに並べた。一度声に出して通せば、本番で「次は何？」がなくなる。

★ 流れは毎回ほぼ同じ

入室 → 面接カードを渡す → 着席 → 名前・級の確認 → 問題カード → **黙読20秒** → **音読（タイトルから）** → No.1 → No.2（準備20秒）→ カードを裏返す → No.3・No.4 → カードを返す → 退室。

面接委員の言い方は人によって少しずつ違う（Please sit down. など）。**意味が同じなら同じ動きでOK**。質問は下の「通しで1枚」のカードの例。

入室〜着席

係員の案内で面接室の前へ。ドアが閉まっていたら軽くノックしてから開ける。

あなた

May I come in?
入ってもよろしいですか。

面接委員

Yes, please come in.
はい、どうぞ。

あなた

Hello.
こんにちは。

あいさつは自分から先に。Good afternoon. でもOK。ここが最初の「話す意欲」。

面接委員

Hello. Can I have your card, please?
こんにちは。カードをいただけますか。

あなた

Here you are.
どうぞ。

面接カードは相手が読める向きにして、ひと言そえて手渡す。

面接委員

Thank you. Please have a seat.
ありがとう。おかけください。

あなた

Thank you.
ありがとうございます。

座るのは言われてから。荷物は指示された場所へ。背筋を伸ばし、手は膝の上。

名前・級の確認とあいさつ

面接委員 **May I have your name, please?**
お名前をどうぞ。

あなた **My name is Yuki Tanaka.**
田中由紀です。

面接委員 **This is the Grade 2 test. OK?**
これは2級の試験です。よろしいですか。

あなた **Yes.**
はい。

面接委員 **How are you today?**
今日の調子はどうですか。

あなた **I'm fine, thank you. How are you?**
元気です。あなたはいかがですか。

面接委員 **I'm fine, thank you.**
元気です、ありがとう。

自分の名前はいちばんはっきり言える英語。ここで出した声の大きさを最後まで基準にする。

問題カード → 黙読 → 音読 → No.1 → No.2

面接委員 **All right. Let's start the test. Here is your card.**
では、試験を始めます。こちらがカードです。

あなた **Thank you.**
ありがとうございます。

面接委員 **First, please read the passage silently for 20 seconds.**
まず、パッセージを20秒間黙読してください。

20秒でやること：タイトル／by doing so などの目印／目印の前の such・this が指す中身／読みにくい語と区切り。

面接委員 **All right. Now, please read the passage aloud.**

では、パッセージを声に出して読んでください。

タイトルから読む。カードを見たままでOK。速さより区切り。

面接委員

Now, I'll ask you four questions. Number 1. According to the passage, how do some supermarkets make it easier for elderly people to get what they need?
では、4つ質問をします。No.1。パッセージによると、一部のスーパーはどのようにして高齢者が必要な物を手に入れやすくしていますか。

あなた

By sending trucks full of everyday products to rural areas where elderly people who cannot drive find it difficult to buy food and other daily goods.
車を運転できない高齢者が食料品や日用品を買うのに苦労している地方の地域へ、日用品を積んだトラックを送ることによってです。

カードを見ながら答えてOK。such areas を「どんな地域か」に戻すのがカギ。

面接委員

Number 2. Now, please look at the pictures and describe the situation. You have 20 seconds to prepare. Your story should begin with the sentence on the card.
No.2。イラストを見て状況を説明してください。準備時間は20秒です。話はカードの文から始めてください。

20秒は黙って頭の中で準備。矢印の語句2つと、各コマの動詞を決める。

面接委員

All right. Please begin.
では、始めてください。

最初の文はカードどおり。言い終わったら顔を上げて面接委員を見る。

カードを裏返して No.3・No.4

面接委員

Now, please turn over the card and put it down.
では、カードを裏返して置いてください。

裏返したら顔を上げる。ここからは目を見て話すパート。

面接委員

Number 3. Some people say that more stores should offer home delivery services. What do you think about that?
No.3。もっと多くの店が宅配サービスをするべきだと言う人がいます。あなたはどう思いますか。

あなた

I agree. Many people are too busy to go shopping after work. Also, home delivery would help elderly people who cannot carry heavy bags.
賛成です。多くの人は仕事のあと忙しすぎて買い物に行けません。また、宅配は重い荷物を運べない高齢者の助けになります。

面接委員

Number 4. Today, many people pay for things with their smartphones. Do you think people will use cash less in the future?
No.4。今日、多くの人がスマートフォンで支払いをしています。将来、人々は現金をあまり使わなくなると思いますか。

あなた

Yes, I do.
はい、思います。

面接委員

Why?
なぜですか。

あなた

Paying with a smartphone is faster and easier than paying with cash. Also, many stores give points to customers who pay this way.
スマートフォンでの支払いは現金より速くて簡単です。また、この方法で払う客にポイントをくれる店も多いです。

No と答えたら Why not?。どちらが来ても、自分の立場の理由を2文で言えばOK。

カード返却〜退室

面接委員

All right. This is the end of the test. Could I have the card back, please?
はい、これで試験は終わりです。カードを返していただけますか。

あなた

Here you are.
どうぞ。

面接委員

Thank you. You may go now.
ありがとう。退室して結構です。

あなた

Thank you very much. Goodbye.
ありがとうございました。さようなら。

面接委員

Goodbye.
さようなら。

ドアを閉めるまでが面接。廊下に出るまで背筋を伸ばしておこう。

⚠ 面接中はメモ・撮影・録音は禁止

メモ・写真撮影・録音は禁止（公式）。カードへの書き込みもしない。黙読20秒もNo.2の準備20秒も、準備はすべて頭の中で。

当日の朝〜控室

家を出る前と控室でやることを順番に。持ち物と型の確認が終われば、あとは声を出すだけ。

1. **前日：受験票で時刻と会場を確認**
   二次の時刻・会場は二次受験票で指定。一次と同じ会場とは限らない。道順と移動時間も調べておく。
2. **当日の朝：英語を声に出す**
   家で音読1回と、No.3・4の答えを2問ぶん声に出す。のどと口を起こしてから出発。
3. **集合時刻の20〜30分前に着く**
   ギリギリだと息が上がったまま呼ばれる。トイレも早めに。
4. **受付**
   二次受験票と顔写真付き身分証の原本を出せるようにしておく。
5. **控室に入ったら電源OFF**
   携帯電話は係員の指示どおり電源を切ってしまう。紙のメモを見てよいかも係員の指示しだい。
6. **面接室の前**
   呼ばれたら面接カードを持って移動。小さく息を吐いて、最初の Hello. の声を決める。

⚠ 顔写真付き身分証は二次でも必須

顔写真付き身分証の原本を提示。コピー・スマホの画像・デジタル学生証・期限切れはNG。忘れても受験はできるが、**試験の翌々日 午前9時30分まで**に画像をアップロードしないと認証失格（成績無効）。

持ち物と出発前 0/6

- [ ] 二次受験票を持った
- [ ] 顔写真付き身分証（有効期限内の原本）を持った
- [ ] 必要なら上履きを持った（会場の案内を確認）
- [ ] 集合時刻・会場・道順を確認した
- [ ] 家で音読1回と、意見の答えを2問ぶん声に出した
- [ ] 控室に入る前に携帯電話の電源を切る準備をした

控室で最後の型チェック 0/8

- [ ] 入室は自分から Hello.、カードは Here you are.
- [ ] 音読はタイトルから。長い主語のあと・by doing so の前後で区切る
- [ ] No.1は目印の前。How → By ~ing、Why → Because＋主語＋動詞
- [ ] such / this / them は前の文の中身に戻して言う
- [ ] No.2は1文目がカードどおり、矢印の語句は文頭、1コマ2文
- [ ] No.3は I agree. / I disagree.、No.4は Yes, I do. / No, I don't. から
- [ ] 理由は2文。聞き返しの1文を決めた
- [ ] 考える間も Let me see. で声を切らさない

控室で心臓がドキドキしてきたら、無理に落ち着かなくていい。心の中で **I'm excited.** と言って「体が本番の準備をしている」と受け取ろう。

🎓 **なぜ効く？ ドキドキは「ワクワク」と呼ぶ**

緊張とワクワクは、心臓が速くなるなど体の反応がよく似ている。人前で話す前に「ワクワクしている」と言い直した人のほうが、「落ち着こう」とした人より、自信と説得力がある話し方になったと報告されている。

Brooks（2014）不安の再評価

音読：タイトルから、区切って読む

カードを読むだけなのに差がつくパート。黙読20秒の使い方と区切る場所を決めておけば、当日そのまま実行できる。

★ うまく読むより、止まらず区切る

素点の目安は**5点**。見られるのは①単語を正しく読む ②**意味のまとまりで区切る** ③途中で止まらない、の3つ。タイトルを読んで1拍おいてから本文へ。

1. **0〜5秒：タイトルと目印**
   タイトルで話題をつかみ、by doing so / in this way / so / as a result などの目印に目を止める。
2. **5〜12秒：指示語の中身を決める**
   目印の前に such ~ / this / these / them がないか見る。あれば何を指すかを頭の中で1回言う（No.1の下ごしらえ）。
3. **12〜20秒：読みにくい所を確認**
   固有名詞・数字・長い主語の切れ目を確かめて、音読に切り替える。秒数は目安。

1 長い主語のあとで切る

主語に関係詞や前置詞がついて長くなったら、動詞の直前で区切る。ここで切れると「意味が分かって読んでいる」と伝わる。

> Elderly people who cannot drive / often find it difficult / to buy food.

2 接続詞・関係詞・前置詞の前で切る

and / because / who / which / where / for / with などのかたまりの前で一瞬止まる。区切りの中はつなげて読む。

> Some supermarkets now send trucks / full of everyday products / to such areas.

3 by doing so の前後で1拍

No.1のカギになる部分。前と後ろで1拍ずつおくと、内容が分かっているのが伝わる。

> ..., and / by doing so, / they make it easier ...

4 内容語を強く、機能語を弱く

名詞・動詞・形容詞ははっきり、a / the / of / to は軽く。全部同じ強さだと棒読みになる。

> some SUPERMARKETS now SEND TRUCKS

5 語尾を落とさない

複数の -s、過去の -ed、三単現の -s は最後まで口を動かす。速く読むほど消えやすい。

> areas / stores / products / makes

6 読み間違えたら区切りの頭から1回

その語を含む区切り（2〜4語）の頭から1回だけ言い直して先へ。文の頭まで戻ると流れが切れる。

7 知らない語も止まらない

つづりから読みを決めて堂々と読む。止まって考えるほうが目立つ。固有名詞は2回目も同じ読みで。

8 声は面接委員に届ける

目はカードでいいが、声は相手へ。机に向かってつぶやくと一気に小さくなる。

実演 実演：区切りと強勢をスラッシュで見る

Learning New Technology[1]

Older people who live far away from their families[2] often feel lonely. Video calls can help them see their grandchildren's faces,[3] but some older people do not know how to use the Internet. Some community centers now offer free tablet classes[5] to such people,[4] and by doing so, they help them stay in touch with their families.

1 タイトルで話題（0〜5秒）

「高齢者と新しい技術」の話と決める。音読はタイトルから。読んだら1拍おいて本文へ。

Learning New Technology

2 長い主語の後で切る

長い主語 Older people who live 〜 families の後、動詞 often feel の直前で区切る。

Older people who live far away from their families

3 接続詞の前で切る

Video calls can help them / see 〜 faces, / but 〜 と、but の前で一瞬止まる。

but some older people do not know how to use the Internet

by doing so の前後で1拍

..., and / by doing so, / they help them ... 前後で1拍ずつ。No.1の答えの場所が分かって読んでいると伝わる。

and by doing so, they help them

5 **強く読む語と語尾**

内容語を強く：OFFER FREE TABLET CLASSES。a・to は軽く。calls・faces・families の -s は最後まで。

offer free tablet classes

答え **Learning New Technology（1拍）／ Older people who live far away from their families / often feel lonely. / Video calls can help them / see their grandchildren's faces, / but some older people / do not know how to use the Internet. / Some community centers / now offer free tablet classes / to such people, / and / by doing so, / they help them / stay in touch with their families.**

教訓 **区切るのは「長い主語の後・接続詞の前・by doing so」の3か所。**

カタカナ語の強勢の罠（大文字を強く）

event
イベント
e-VENT（後ろが強い）

energy
エネルギー
EN-er-gy（エネルギーとは読まない）

volunteer
ボランティア
vol-un-TEER

technology
テクノロジー
tech-NOL-o-gy

museum
ミュージアム
mu-SE-um

career
キャリア

ca-REER

elderly
高齢の
EL-der-ly

percent
パーセント
per-CENT

✕ ~~タイトルを飛ばして本文から読み始める~~

◯ **タイトルを読んで1拍おき、本文へ**

音読はタイトルから。飛ばすと最初から読み落としになる。

✕ ~~速く読もうとして語尾が消える~~

◯ **ふだんの話す速さの8割で、区切りの中はつなげる**

速さは点にならない。区切りと発音の正しさが点になる。

✕ ~~間違えるたびに文の頭から読み直す~~

◯ **区切りの頭から1回だけ言い直して先へ**

何度も戻ると、ミス1つより流れの崩れのほうが目立つ。

❶ No.1：目印の前を取り出し、指示語を戻す

No.1は答えがカードに書いてある問題。①目印で答えの場所を決める ②指示語を戻す ③形を整える、の3手で毎回同じように答えられる。

★ 答えは3手で作る

①目印（by doing so / so）で場所を決める → **②指示語を戻す**（such / this / them のまま言わない）→ **③形を整える**（How → By ~ing、Why → Because＋主語＋動詞）。

本文の目印	質問	答えの出だし
by doing so／in this way（そうすることで）	How ~?	By ~ing ...／They do so by ~ing ...
so／therefore／as a result／for this reason（だから・その結果）	Why ~?	Because they ~ ...／Because 本文の主語 ~ ...
目印が文の途中（A, and by doing so, B.）	—	答えは同じ文の前半 A
目印が文頭（A. By doing so, B.）	—	答えは前の文 A をまるごと

場所に迷ったら**質問の後半**を聞く。how / why のあとの語句は、本文の目印の**後ろ**とほぼ同じ。その目印の前が答え。

実演 実演：No.1 by doing so を答えの形に置き換える

Learning New Technology

Older people who live far away from their families often feel lonely. Video calls can help them see their grandchildren's faces, but some older people do not know how to use the Internet[4]. Some community centers now offer free tablet classes to such people[2], and by doing so, they help them stay in touch with their families.

Q: According to the passage, how do some community centers[1] help older people stay in touch with their families?

1 質問の後半を聞く

stay in touch with their families は本文の by doing so の後ろと同じ。答えは by doing so の前にある。

help older people stay in touch with their families?

2 目印の前を取り出す

by doing so の直前＝Some community centers now offer ～ to such people。主語は質問と同じなので消す。

Some community centers now offer free tablet classes to such people

3 動詞を ing 形に

offer → By offering。now は要らない。ただし to such people で止めると「どんな人？」が伝わらない。

4 such people を戻す

such people＝「ネットの使い方を知らない高齢者」。older people who do not know ～ と who でつないで戻す。

some older people do not know how to use the Internet

5 最後まで言い切る

途中で切らず、Internet まで言い切る（答えは下）。言い終えたら顔を上げて面接委員を見る。

答え **By offering free tablet classes to older people who do not know how to use the Internet.**

教訓 **目印の前→ing形→指示語を戻す。毎回この3手で答えが完成する。**

How 型：By ~ing

How①：such ＋名詞を戻す

QUESTION

Many students find it hard to study at home because of noise. Some public libraries now offer free study rooms to such students, and by doing so, they help them prepare for exams.

Q: According to the passage, how do some public libraries help students prepare for exams?

By offering free study rooms to students who find it hard to study at home because of noise.

家では騒音のために勉強しにくい生徒に、無料の自習室を提供することによってです。

- ×By offering free study rooms to such students. → 「どんな生徒？」が分からない
- such students ＝ 前の文の主語 Many students。who ＋前の文の動詞以下でつなぐ（Many は外す）
- They do so by offering ~. と言ってもOK

How②：文頭の By doing so と動作2つ

QUESTION

Some towns have many empty houses. These towns repair the houses and rent them to young families at low prices. By doing so, they are trying to increase their populations.

Q: According to the passage, how are some towns trying to increase their populations?

By repairing empty houses and renting them to young families at low prices.

空き家を修理して、若い家族に安く貸すことによってです。

- By doing so が文頭 → 答えは前の文まるごと
- the houses ＝ 前の文の empty houses に戻す
- 動作が2つなら and のあとも ing（renting）

How の型

By **[動詞のing形]** **[本文の続き]**.
They do so by **[動詞のing形]** **[本文の続き]**.

どちらか一方でOK。本文の動詞を ing にして、後ろは最後まで言う。
主語が単数なら It does so by ~ing.。否定は By not ~ing。

Why 型：Because＋主語＋動詞

Why①：主語は they で受ける

QUESTION

Some farmers have trouble finding young workers. They have therefore started using robots to pick fruit.

Q: According to the passage, why have some farmers started using robots to pick fruit?

Because they have trouble finding young workers.

若い働き手を見つけるのに苦労しているからです。

- therefore は「だから」の目印。答えはその理由になる前の文
- 質問の主語 some farmers と同じ人なので they で受ける
- Because のあとは必ず主語＋動詞。主語を落とさない

Why②：such を戻し、主語は本文どおり

QUESTION

Some young people do not know how to manage their money. Such people can easily get into debt, so some high schools have started to offer classes on personal finance.

Q: According to the passage, why have some high schools started to offer classes on personal finance?

Because young people who do not know how to manage their money can easily get into debt.

お金の管理の仕方を知らない若者は、簡単に借金を抱えてしまうことがあるからです。

- ×Because such people can easily get into debt.
- so の前が答え。such people ＝ young people who do not know how to manage their money
- 答えの主語は質問の主語（高校）とは別の人なので they にしない

Why の型

Because **[they / 本文の主語]** **[本文の動詞]** **[本文の続き]**.

主語を決めて、本文の文をそのまま続ける。
they が使えるのは質問の主語と同じ人・物のときだけ。動詞の形（三単現・時制）は本文に合わせる。

指示語の戻し方

答えの中にあったら	こう戻す
such ＋名詞／these ＋名詞	前の文の名詞のかたまりに戻す（who / which / that でつなぐ）
this problem など	the problem that ＋前の文 のように中身を入れる
this（前の文全体）	前の文をまるごと言って , which ~ でつなぐ
them / it（前の名詞）	前に出た名詞に戻す。1回戻せば2回目はそのままでOK
do so	前の文の動詞のかたまりに戻す

✕ ~~By hold weekend events for children.~~

◯ **By holding weekend events for children.**

By のあとは必ず ing 形。

✕ ~~Because want to save time.~~

◯ **Because they want to save time.**

Because のあとは主語＋動詞の文。

✕ ~~Some towns repair empty houses and rent them ...（丸読み）~~

◯ **By repairing empty houses and renting them ...**

本文の丸読みは答えの形になっていない。How には By ~ing で。

✕ ~~By offering free study rooms.~~

◯ **By offering free study rooms to students who find it hard to study at home because of noise.**

途中で切ると情報不足。迷ったら削らず最後まで。

✕ ~~I think they do so by ~ing ...~~

◯ **They do so by ~ing ...**

No.1は本文に書いてあることを答える問題。I think は付けない。

🎓 **なぜ効く？ 指示語を戻す＝読めた証拠**

文章は such や this のような「指す言葉」で前の文とつながっている（結束性）。指す先を戻して言えるのは、文と文のつながりまで読めている証拠。No.1はその力を答えの形で見せる問題だ。

Halliday & Hasan（1976）結束性

❷ No.2：3コマを1コマ2文で語る

3コマのイラストを、カードの文から始めて過去形で語る問題。20秒で決めることを3つに絞れば、どんな絵でも同じ手順で話せる。

★ 1文目はカード、矢印は文頭、時制は過去

最初の文は**カードどおり** → 各コマ**2文**（①人物の動作 ②吹き出し・考え・気持ち）→ 2・3コマ目は矢印の時間表現を文頭で必ず言う。現在形を混ぜない。

1 準備20秒①：矢印の語句2つ

That evening / A week later など、2・3コマ目の文頭に置く語句を頭の中で1回言う。

2 準備20秒②：各コマのメインの動詞

was talking / was showing / was bringing のように、コマごとに動詞を1つ決める。

3 準備20秒③：吹き出しの変え方

セリフなら told / suggested / asked、考えなら was thinking about ~ing。文を丸ごと作ろうとしない。

No.2 ナレーションの型

[カードの最初の文]. [人物] told [相手] that [吹き出しの内容].
[矢印の語句1], [人物] was [~ing]. [人物] [吹き出し・セリフ・考え].
[矢印の語句2], [人物] was [~ing]. [人物] was [気持ち・考え].

1行＝1コマ・2文。動作は過去進行形、起きたこと・言ったことは過去形。
1コマ目は「カードの文＋吹き出しの1文」で2文になる。

吹き出し・絵	ナレーションでの言い方
Let's ~.	suggested ~ing ／ suggested that they ~
Please ~. ／ Could you ~?	asked 人 to ~
I'll ~.	said (that) he would ~（will → would）
You can ~.	told 人 that 人 could ~（can → could）
Can I ~?	asked if she could ~
雲形の吹き出し（考え）	was thinking about ~ing ／ was thinking of ~ing
看板・ポスターの文字	A sign said that ~ ／ There was a poster for ~

矢印によく出る時間の語句（そのまま文頭へ）

Later that day
その日のあとで

That evening
その晩

The next morning
翌朝

The next weekend
次の週末

A few days later
数日後

A week later
1週間後

On the way home
帰り道で

実演 実演：No.2 3コマを時間表現でつなぐ

カードの最初の文：One day, Aya was talking with her father about the school festival.
コマ1：アヤが父に話している。吹き出し「I want to sell cookies at the festival.」
→ That evening [1]
コマ2：台所でアヤと父がクッキーを焼いている。父の吹き出し「Let's make 100 cookies.」[3]
→ On the day of the festival [5]
コマ3：アヤが屋台に「Sold Out」の札を出している。雲形の吹き出しに、もっとたくさんクッキーを焼く自分。

1 準備0〜5秒：矢印2つ
That evening と On the day of the festival を確認。2コマ目・3コマ目の1語目はこれ、と決める。
→ That evening

2 準備5〜15秒：動詞

1コマ目 told、2コマ目 were baking、3コマ目 was putting up。動作は過去進行形で1つずつ決める。

3 **準備15〜20秒：吹き出し**

I want to → told him that 〜、Let's → suggested 〜ing、雲形 → was thinking about 〜ing。

Let's make 100 cookies.

4 **1コマ目＝カード＋1文**

カードの文をそのまま読み、吹き出しを She told him that 〜. に変えて足す。これで2文。

5 **2・3コマ目は矢印から**

That evening, 〜. / On the day of the festival, 〜. 矢印の語句で始めると、場面の切り替わりがはっきり伝わる。

→ On the day of the festival

答え **One day, Aya was talking with her father about the school festival. She told him that she wanted to sell cookies at the festival. That evening, Aya and her father were baking cookies in the kitchen. Her father suggested making 100 cookies. On the day of the festival, Aya was putting up a sign that said the cookies were sold out. She was thinking about baking more cookies for the next festival.**

教訓 **矢印の語句を文頭に置くだけで、3コマが1本の話になる。**

Beach Cleanup

最初の文

One day, Mr. and Mrs. Sato were looking at a poster at the station.

1コマ目

駅の構内。佐藤夫妻が「Beach Cleanup — Sunday」のポスターを見ている。そばに小学生の息子と娘。佐藤さん（妻）が夫に話しかけている。

On Sunday

砂浜。佐藤一家がほかのボランティアと一緒にごみを拾っている。佐藤さん（夫）が袋を広げて、息子に話しかけている。

Please put the plastic

That evening

家の食卓で一家が夕食を食べている。娘の頭の上に雲形の吹き出しがあり、友達と一緒に浜辺でごみを拾っている絵が描かれている。

Let's join this event with the children.

bottles in this bag.

Beach Cleanup の模範ナレーション

One day, Mr. and Mrs. Sato were looking at a poster at the station. Mrs. Sato suggested joining the beach cleanup event with their children. On Sunday, Mr. and Mrs. Sato and their children were picking up trash on the beach. Mr. Sato asked his son to put the plastic bottles in the bag. That evening, the family was having dinner at home. Their daughter was thinking about cleaning the beach with her friends.

ある日、佐藤夫妻は駅でポスターを見ていました。佐藤さんの奥さんは、子どもたちと一緒に浜辺の清掃イベントに参加しようと提案しました。日曜日、佐藤夫妻と子どもたちは浜辺でごみを拾っていました。佐藤さんは息子に、ペットボトルを袋に入れるよう頼みました。その晩、一家は家で夕食を食べていました。娘は友達と一緒に浜辺を掃除しようと考えていました。

- 1コマ目：カードの文＋Let's ~ → suggested ~ing
- 2コマ目：矢印 On Sunday を文頭に。Please ~ → asked 人 to ~
- 3コマ目：雲形の吹き出しは was thinking about ~ing
- 人物は Mrs. Sato / his son / their daughter のようにラベルで区別

✕ ~~On Sunday, they pick up trash on the beach.~~

○ **On Sunday, they were picking up trash on the beach.**

現在形が混ざると減点されやすい。動作は過去進行形で。

✕ ~~She suggested her husband to join the event.~~

○ **She suggested joining the event.**

suggested 人 to ~ は誤り。suggested ~ing か suggested that they ~ で。

✕ ~~（矢印の語句を言わずに）They were picking up trash.~~

○ **On Sunday, they were picking up trash.**

矢印の語句は時間の流れを示す大事な情報。文頭で必ず言う。

✕ ~~He asked him to put the bottles in the bag.~~

◯ **Mr. Sato asked his son to put the bottles in the bag.**

男性が2人いたら he を使わず、名前や his son などのラベルで。

ナレーションで使える表現

She told him that the shop was closed.
彼女は彼に、店が閉まっていると言った。

He said that he would fix the bike the next day.
彼は次の日に自転車を直すと言った。
will → would、tomorrow → the next day

She was surprised to see that it was raining.
彼女は雨が降っているのを見て驚いた。

He was about to leave home when the phone rang.
彼が家を出ようとしたとき、電話が鳴った。

They decided to go to the park by bike.
彼らは自転車で公園へ行くことにした。

She realized that she had left her umbrella on the train.
彼女は電車に傘を置き忘れたことに気づいた。

A sign said that the elevator was not working.
エレベーターが動いていないと掲示に書いてあった。

He was worried that he would be late for school.
彼は学校に遅れるのではと心配していた。

🎓 **なぜ効く？ 決まり文句は「ずる」じゃない**
ネイティブも、よく使う言い回しをひとまとまりで覚えていて、一瞬で取り出して話している。suggested ~ing や was thinking about ~ing を丸ごと持っておけば、20秒の準備を「何を言うか」だけに使える。

Pawley & Syder（1983）／Wray（2002）定型表現・チャンク

❸ No.3・No.4：立場＋理由2文

カードを裏返したら自分の意見のパート。英語の難しさより「立場をはっきり言って、理由を2文で支える」形で点が決まる。

★ 最初のひと言で立場、そのあと理由2文

No.3（Some people say ~）は **I agree. / I disagree.**、No.4（Do you think ~?）は **Yes, I do. / No, I don't.**。そのあと理由2文（主張＋具体例）。

質問の形	最初のひと言
Some people say that ~. What do you think about that?	I agree. ／ I disagree.
Do you think ~?	Yes, I do. ／ No, I don't.
Should ~? ／ Is it a good idea ~?	Yes, I think so. ／ No, I don't think so.

No.3（Some people say ~）の型

I agree. / I disagree.
[理由の主張].
For example, **[具体例]**.

Yes / No ではなく I agree / I disagree で答える。2文目は For example か Also で。
I agree with this opinion. と言うとよりていねい。

No.4（Do you think ~?）の型

Yes, I do. / No, I don't.
（Why? / Why not? と聞かれたら）
[理由の主張]. Also, **[もう1つの理由・具体例]**.

Yes / No だけで止まると理由を聞かれる。聞かれる前に自分から続けてもOK。
not を聞き逃しても、自分の立場の理由を言えば大丈夫。

1 迷ったら言いやすい方

本心でなくていい。英語で理由を2文言える方を3秒で選ぶ。

2 理由のストック7つ

お金・時間・健康・安全・環境・便利さ・人とのつながり。たいていの質問はどれかで理由が作れる。

> It saves time. / It is good for the environment.

3 **質問の語句を借りる**
質問の名詞・動詞をそのまま使って1文目を作ると、文法ミスが減り、答えもずれない。

> Q: ...use cash less... → People will use cash less because ...

4 **一般論 → 具体例**
1文目は Many people ~ / It is ~ for people to ~ の一般論、2文目は For example / In my case で身近な例。

5 **例が出なければ If で予想**
身近な例が浮かばなければ、If ~, ... で「そうなったらどうなるか」を1文。

> If more people work from home, there will be fewer crowded trains.

6 **時制は質問に合わせる**
一般論は現在形、Do you think ~ will ~? には will で。

7 **2文で止める**
3文目以降で脱線するとミスが増える。言い切ったら顔を上げて待つ。

実演 実演：No.3 立場→理由2文（I disagree.）

No.3
Some people say that[1] high school students[4] should have part-time jobs. What do you think about that?

1 **質問の型を判定（1秒）**
Some people say ～ の型→ I agree. / I disagree. で始める。Yes, I do. ではない。
Some people say that

2 **立場は3秒で**
賛成「お金の大切さを学べる」、反対「勉強の時間が減る」。英語で2文言いやすい反対に決定。

3 **1語目で立場を言い切る**
I disagree. と先に言う。考えるのはこの後。Let me see. をはさんでもいいので黙らない。

4 **理由1＝一般論**
High school students should focus on their studies. 質問の語を主語に借りる。
high school students

5 **理由2＝For example**
For example, many of them need time for entrance exams. と具体例で1文目を支える。

答え **I disagree. High school students should focus on their studies. For example, many of them need a lot of time to prepare for university entrance exams.**

教訓 **型を判定→立場→一般論→具体例。2文で止めて顔を上げる。**

実演 実演：No.4 Yes/No→理由2文（Yes, I do.）

No.4

Today, many young people get news from social media. Do you think people will read fewer newspapers in the future?

1 **質問の型を判定（1秒）**
Do you think ～? の型→ Yes, I do. / No, I don't. で始める。I agree. ではない。
Do you think people will read fewer newspapers in the future?

2 **立場は3秒で**
スマホなら無料・速い→理由が2つすぐ出る Yes に決定。本心かどうかは関係ない。

3 **Yes, I do. で止めない**
Why? と聞かれたらすぐ理由へ。聞かれる前に、間をおかず自分から続けてもOK。

4 **理由1＝お金**
Many people can read the news on their smartphones for free. 質問の news をそのまま借りる。
get news from social media

5 **理由2＝Also で速さ**
Also, news websites give people ～ much faster. と、観点をお金→速さに変える。

答え **Yes, I do. Many people can read the news on their smartphones for free. Also, news websites give people the latest information much faster than newspapers.**

教訓 **Yes/No の後は観点の違う理由を2文。お金・時間・速さが鉄板。**

No.3 賛成の例

QUESTION

Some people say that students should do volunteer work in their free time. What do you think about that?

I agree. Volunteer work helps students learn things that they cannot learn at school. For example, they can learn how to communicate with people of different ages.

賛成です。ボランティアは、学校では学べないことを生徒が学ぶ助けになります。例えば、さまざまな年齢の人とのコミュニケーションの取り方を学べます。

- I agree. で立場を先に
- 1文目は一般論、2文目は For example で具体的に

No.3 反対の例

QUESTION

Some people say that students should do volunteer work in their free time. What do you think about that?

I disagree. Many students are already busy with club activities and homework. They need their free time to rest and spend time with their families.

反対です。多くの生徒はすでに部活動と宿題で忙しいです。休んだり家族と過ごしたりするために、自由な時間が必要です。

- 反対でも形は同じ。立場＋理由2文
- 2文目は1文目を詳しくする補足でもOK

No.4 Yes の例

QUESTION

Today, many companies let their workers work from home. Do you think this will become more common in the future?

Yes, I do. Working from home saves a lot of time because people don't have to travel to the office. Also, companies can save money on office space.

はい、思います。在宅勤務は、職場へ移動しなくてよいので時間の大きな節約になります。また、会社はオフィスの費用を節約できます。

- Yes, I do. のあと Why? と聞かれたら残りの2文を言う
- 理由のストック「時間」と「お金」を1つずつ

No.4 No の例

QUESTION

Today, many companies let their workers work from home. Do you think this will become more common in the future?

No, I don't. Many jobs, such as nursing and cooking, cannot be done from home. Also, some people feel lonely when they work alone at home.

いいえ、思いません。看護や調理のように、家ではできない仕事がたくさんあります。また、家で1人で働くと孤独を感じる人もいます。

- No, I don't. のあと Why not? と聞かれたら残りの2文
- such as で具体例を入れると説得力が上がる

✕ ~~Yes.（そのまま黙る）~~

◯ **Yes, I do. Working from home saves time ...**

理由がないと情報量が足りない。聞かれても聞かれなくても理由は2文。

✕ ~~Yes, I do.（No.3の Some people say ~ に）~~

◯ **I agree.**

No.3は意見への賛否を聞いている。I agree. / I disagree. で答える。

✕ ~~I think ... because ... and ... so ...（立場が最後まで出ない）~~

◯ **I disagree. Many students are already busy ...**

立場は最初のひと言で。長い1文より短い2文のほうが伝わる。

意見を言う表現

I agree with this opinion.
この意見に賛成です。

I disagree with this opinion.
この意見に反対です。

It is a good way to save money.
それはお金を節約するよい方法です。

This is because many people are very busy these days.
なぜなら、最近は多くの人がとても忙しいからです。

For example, many people in my town use the community bus.
例えば、私の町では多くの人がコミュニティバスを使っています。

In my case, I often buy books online because it is convenient.
私の場合、便利なのでよく本をネットで買います。

It is important for children to spend time outside.
子どもが外で過ごすことは大切です。

Also, it is good for the environment.
また、それは環境によいです。

On the other hand, it can be expensive for some families.
一方で、家庭によっては費用が高くなることもあります。

詰まったら：沈黙しない救急フレーズ

頭が真っ白になったときに口から出せば、会話がつながるフレーズ。黙る前に、どれか1つを言おう。

★ 沈黙がいちばんの失点

黙っている間は何も採点できない。聞き返す・つなぐ・言い直すの3つを英語で用意しておけば、真っ白になっても声は出せる。

聞き返す

I'm sorry, could you repeat the question?

すみません、質問をくり返していただけますか。

これを1つ決めておけば十分

I'm sorry, could you say that again, please?

すみません、もう一度言っていただけますか。

Sorry, could you repeat the last part of the question?

すみません、質問の最後の部分をもう一度お願いできますか。

一部だけ聞き取れなかったとき

Could you speak a little more slowly, please?

もう少しゆっくり話していただけますか。

「何回までなら大丈夫」とは言い切れず、何度も聞き返すと不利になることもある。**本当に聞き取れなかった時だけ、質問の直後に**使おう。考え込んでから聞き返すより、すぐのほうが自然。

考える時間をつなぐ

Let me see.

ええと。

Well, let me think for a moment.

そうですね、少し考えさせてください。

That's a difficult question, but I think so.

難しい質問ですが、そう思います。

I'm not sure, but I think it will become more popular.

確かではありませんが、もっと広まると思います。

言い直す・言い換える

Sorry, I mean he was fixing the bike.
すみません、「彼は自転車を直していた」と言いたかったんです。

Sorry, let me say that again.
すみません、言い直させてください。

It's a kind of machine that people use to clean the floor.
床を掃除するのに使う機械の一種です。
英語名が出てこない物

It's a place where people can borrow things.
物を借りられる場所です。

迷ったら **聞き返しても分からなかったら**

→ 聞き取れたキーワードを使って答えを作る。

少しずれても、何か言うほうが無言より点につながりやすい。

迷ったら **Yes か No か決められなかったら**

→ 英語で理由を2文言える方を選ぶ。

立場の正しさより、答えがはっきりしていることが大事。

迷ったら **理由が浮かばなかったら**

→ お金・時間・健康・安全・環境・便利さ・人とのつながり、のどれかに当てはめる。

迷ったら **途中で文法ミスに気づいたら**

→ Sorry, I mean ~ でその部分だけ言い直す。言い終えてから気づいたら、そのまま次へ。

迷ったら **No.2で現在形になっていたら**

→ 気づいた文から過去形に戻す。前の文まで戻らなくていい。

迷ったら **No.1で目印が見つからなかったら**

→ in this way / so / therefore / as a result を探す。なければ、質問と同じ表現が出てくる部分の直前。

迷ったら **時間で止められたら**

→ そこで終わりでOK。引きずらず次の質問に集中。

1問が途中で止まっても、ほかの問題の点は減らない。

迷ったら **面接委員が無表情でも**

→ 気にしない。表情から出来は分からない。自分の答えに集中。

🎓 **なぜ効く？ 言い換えも英語力のうち**

単語が出てこないとき、説明や別の言い方で切り抜ける力は「方略的能力」と呼ばれ、コミュニケーション能力の柱の1つとされている。黙るより、知っている英語で伝え切るほうが本物の会話に近い。

Canale & Swain（1980）方略的能力

アティチュード：声・目線・反応

アティチュード（積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度）は、英語力と関係なく取りにいける点。入室から退室まで見られていると思って動こう。

★ 英語力と関係なく狙える3点

素点は目安で**音読5・No.1〜4 各5・アティチュード3（計33）**。この3点は声・目線・沈黙しないの3つで取りにいける。

1 あいさつは自分から先に

ドアを開けたら Hello.、カードを渡すときも Here you are.。最初の10秒で「話す気がある人」と印象づける。

2 声は普段の1.5倍

緊張すると声は小さくなる。机の向こうの人にはっきり届く声で。最初の Hello. で声量を決めてしまう。

3 目線は使い分ける

音読・No.1・No.2はカードを見てOK。答え終わりに顔を上げる。No.3・4は面接委員の目か鼻のあたりを見て話す。

4 明るさは入退室で

ずっと笑う必要はない。Hello. と Thank you. Goodbye. のとき口角を上げればOK。

5 反応は声で返す

指示や Thank you. には OK. / Thank you. と短く返す。うなずくだけより伝わる。

6 姿勢

背もたれに寄りかからず、手は膝の上。腕組み・髪をさわる・貧乏ゆすりはやめておこう。

7 ミスを顔に出さない

間違えたら Sorry, と言って言い直し、次へ。ため息や苦笑いは英語のミスより目立つ。

8 語尾まで言い切る

文末を下げて言い切ると自信があるように聞こえる。語尾が消えると迷っている印象になる。

場面	目線	声・ひと言
入室	面接委員を見て	Hello.（自分から先に）
音読・No.1・No.2	カード。答え終わりに顔を上げる	普段の1.5倍。語尾まで
No.3・No.4	面接委員の目か鼻のあたり	I agree. / Yes, I do. を言い切る
退室	面接委員を見て	Thank you very much. Goodbye.

⚠ 日本語のつなぎ言葉に注意

「えーと」「あの」「なんだっけ」は思った以上に目立つ。**Well, / Let me see.** に置き換えて、控室で一度口に出しておこう。

✕ ~~（質問のあと、無言で考え込む）~~

◯ **Let me see. と言ってから考える**

無言は意欲が見えない。声でつなげば「考えて答えようとしている」と伝わる。

✕ ~~Yes.（小声・下を向いたまま）~~

◯ **Yes, I do.（顔を上げ、語尾まで言い切る）**

同じ答えでも、声と目線で自信のある答えに聞こえる。

✕ ~~あっ、すみません…（日本語で言い直す）~~

◯ **Sorry, I mean he was fixing the bike.**

英語で言い直せば、ミスの訂正も会話力として見てもらいやすい。

社会問題ネタ帳（No.3・No.4用）

2級で問われやすい身近な社会のテーマを、賛成・反対の理由1文ずつで用意した。理由はそのまま口に出せる英文。

質問が少し違っても、**近いテーマの理由を借りれば2文は作れる**。全部覚えなくていい。各テーマ、言いやすい側を1つだけ声に出しておこう。

理由のストック	そのまま言える英文
お金	It helps people save money.
時間	It saves people a lot of time.
健康	It is good for people's health.
安全	It makes people's lives safer.
環境	It is better for the environment.
便利さ	It is more convenient for busy people.
人とのつながり	It gives people a chance to communicate with others.

Do you think more people will shop online instead of going to stores?
店に行く代わりにネットで買い物をする人は増えると思いますか。 ネタを見る

Is it a good idea for children to have their own smartphones?
子どもが自分のスマートフォンを持つのはよい考えですか。 ネタを見る

Should people use public transportation more often?
人々は公共交通機関をもっと使うべきですか。 ネタを見る

Do you think more foreign tourists will visit Japan in the future?
将来、日本を訪れる外国人観光客は増えると思いますか。 ネタを見る

Should people use fewer plastic products?
人々はプラスチック製品の使用を減らすべきですか。 ネタを見る

Do you think robots will do more jobs in the future?
将来、ロボットがもっと多くの仕事をすると思いますか。 ネタを見る

Is it good for elderly people to keep working?
高齢者が働き続けるのはよいことですか。 ネタを見る

Should schools spend more time teaching students about natural disasters?
学校は自然災害について教える時間をもっと増やすべきですか。 ネタを見る

Should supermarkets do more to reduce food waste?
スーパーは食品ロスを減らすためにもっと努力するべきですか。 ネタを見る

Do you think online classes are as good as classes at school?
オンライン授業は学校での授業と同じくらいよいと思いますか。 ネタを見る

Are local festivals important for communities?
地域のお祭りは地域社会にとって大切ですか。 ネタを見る

1 主語を質問の名詞に入れ替える

ネタ帳の理由文の主語を、質問に出た名詞に替えるだけで別のテーマに使える。

> Online shopping lets people buy things at any time. → Online classes let students study at any time.

2 反対側の万能3つ

「お金がかかる」「高齢者には使いにくい」「人と話す機会が減る」は、新しいサービス・技術の質問ならたいてい使える。

> It costs a lot of money. / Some elderly people find it difficult to use.

3 2文目は In my case で身近に

一般論の次に自分や家族の例を1文。作り話でも、自然な例ならOK。

> In my case, my grandmother uses the community bus every week.

通しで1枚：オリジナル問題カード

書き下ろしの問題カードで、黙読からNo.4まで本番と同じ順に通そう。自分で答えてから模範解答を聞くのがおすすめ。

Mobile Supermarkets

In many rural areas, small local stores have been closing. As a result, elderly people who cannot drive often find it difficult to buy food and other daily goods. Some supermarkets now send trucks full of everyday products to such areas, and by doing so, they make it easier for elderly people to get what they need. This kind of service may become even more important in the future.

最初の文

One day, Yuta was visiting his grandmother at her house.

1コマ目

祖母の家の台所。祖母がほとんど空の冷蔵庫を開けて、困った顔で優太に話しかけている。

The supermarket is too far for me to walk to.

The next weekend

居間。優太がタブレットを祖母に見せ、食料品の注文画面を指さしながら説明している。

You can order food online with this.

A week later

祖母の家の玄関。配達員が食料品の段ボール箱を手渡している。祖母はにこにこしていて、頭の上の雲形の吹き出しに、優太に電話をかけている自分の絵。

移動スーパー

多くの地方では、地元の小さな店が閉店し続けている。その結果、車を運転できない高齢者は、食料品やその他の日用品を買うのに苦労することが多い。今では、日用品を積んだトラックをそのような地域に送るスーパーもあり、そうすることで、高齢者が必要な物を手に入れやすくしている。この種のサービスは、将来さらに重要になるかもしれない。

音読の見本（タイトルから）

Mobile Supermarkets

In many rural areas, small local stores have been closing. As a result, elderly people who cannot drive often find it difficult to buy food and other daily goods. Some supermarkets now send trucks full of everyday products to such areas, and by doing so, they make it easier for elderly people to get what they need. This kind of service may become even more important in the future.

（上のカードの訳を参照）

- タイトルのあと1拍おいて本文へ
- elderly people who cannot drive / often find it difficult / to buy food ...
- and / by doing so, / they make it easier ... の前後で区切る

No.1

QUESTION

According to the passage, how do some supermarkets make it easier for elderly people to get what they need?

By sending trucks full of everyday products to rural areas where elderly people who cannot drive find it difficult to buy food and other daily goods.

車を運転できない高齢者が食料品や日用品を買うのに苦労している地方の地域へ、日用品を積んだトラックを送ることによってです。

- by doing so の直前 Some supermarkets now send ~ を By sending ~ に
- such areas は「どんな地域か」に戻す。前の2文の内容を where でつなぐ
- They do so by sending ~. でもOK

No.2

One day, Yuta was visiting his grandmother at her house. She told him that the supermarket was too far for her to walk to. The next weekend, Yuta was showing his grandmother how to use a tablet. He told her that she could order food online with it. A week later, a delivery worker was bringing a box of food to Yuta's grandmother. She was thinking about calling Yuta to thank him.

ある日、優太は祖母の家を訪ねていました。祖母は彼に、スーパーは遠すぎて歩いて行けないと言いました。次の週末、優太は祖母にタブレットの使い方を教えていました。彼は祖母に、これでネットで食べ物を注文できると言いました。1週間後、配達員が優太の祖母に食料品の箱を届けていました。祖母は優太に電話してお礼を言おうと考えていました。

- 1コマ目：カードの文＋吹き出し（is → was、me → her）
- 2コマ目：矢印 The next weekend を文頭に。You can ~ → told her that she could ~
- 3コマ目：A week later。雲形の吹き出しは was thinking about ~ing

No.3（賛成）

QUESTION

Some people say that more stores should offer home delivery services. What do you think about that?

I agree. Many people are too busy to go shopping after work. Also, home delivery would help elderly people who cannot carry heavy bags.

賛成です。多くの人は仕事のあと忙しすぎて買い物に行けません。また、宅配は重い荷物を運べない高齢者の助けになります。

- 理由のストック「時間」と「人を助ける」

No.3（反対）

QUESTION

Some people say that more stores should offer home delivery services. What do you think about that?

I disagree. More delivery trucks on the roads are bad for the environment. Also, many people enjoy choosing products in stores by themselves.

反対です。道路を走る配達トラックが増えると環境に悪いです。また、多くの人は店で自分で商品を選ぶのを楽しんでいます。

- 理由のストック「環境」と「楽しみ」

No.4（Yes）

QUESTION

Today, many people pay for things with their smartphones. Do you think people will use cash less in the future?

Yes, I do. Paying with a smartphone is faster and easier than paying with cash. Also, many stores give points to customers who pay this way.

はい、思います。スマートフォンでの支払いは現金より速くて簡単です。また、この方法で払う客にポイントをくれる店も多いです。

- Yes, I do. → Why? → 理由2文

No.4（No）

QUESTION

Today, many people pay for things with their smartphones. Do you think people will use cash less in the future?

No, I don't. Many elderly people are not used to smartphones and still prefer cash. Also, cash can be used even when there is a power outage after a disaster.

いいえ、思いません。多くの高齢者はスマートフォンに慣れておらず、今も現金を好みます。また、現金は災害で停電したときでも使えます。

- No, I don't. → Why not? → 理由2文

カードが変わっても手順は同じ。タイトルから音読 → 目印の前 → 過去進行形 → 理由2文。

スマホはいつまで見られる？もう教室に入ったらダメ？

★結論：スマホは「教室に入る直前」まで
従来型の一次は、試験教室の中では電源を切ってカバンにしまい、足元に置く（公式）。だからスマホを見られるのは廊下・ロビーまで。教室に入ってからスマホを出すのはNG。

従来型の一次（本会場）

場面	スマホ	紙のメモ
家・移動中・会場の廊下やロビー	○	○
教室に入った後〜説明が始まるまで	×（電源OFF→カバン→足元）	○ 見てよいことが多い（試験監督の指示が最優先）
試験監督の説明が始まったら	×	△「しまって」と言われたら即しまう
試験中（R・W）	×	×（問題冊子と解答用紙だけ）
R・W終了→リスニング	×（準備中・テスト中は退出できない）	×
終了後	○ 教室を出てから	○

スマホ見納めの目安（本会場の標準時刻）

級	入場開始	スマホ見納めの目安	着席時間
準1級（午前）	8:40	9:10ごろ（遅くとも9:20）	9:20
1級（午後）	12:40	13:10ごろ（遅くとも13:20）	13:20
2級（午後）	12:50	13:20ごろ（遅くとも13:30）	13:30

見納め＝教室に入る時刻。着席時間の10分前（目安）には教室に入るのが安全（トイレと机の準備の時間）。試験開始は準1級10:00／1級14:00／2級14:10。時刻は必ず自分の受験票で確認。

⚠スマートウォッチも禁止。時計代わりにもならない

スマートウォッチなどのウェアラブル端末は使用禁止で、時計としても使えない。携帯電話も腕時計の代わりにならない。着信音・バイブ音が鳴ると失格のことがある。

✕ ~~着席してから、最後にスマホで単語チェック~~

◯ **スマホは廊下で見納め。教室では紙を見る**

教室の中は電源OFFでカバンへ（公式）。出した時点でトラブルになりうる。

✕ ~~マナーモードや機内モードにしてカバンへ~~

◯ **電源を切ってからカバンへ**

アラームや通知の音・バイブで失格のことがある。公式のルールは「電源を切る」。

✕ ~~スマートウォッチを腕時計の代わりに~~

◯ **ふつうの腕時計を持っていく**

ウェアラブル端末は時計としての利用も不可。多機能時計も時計としてだけ使う。

二次（面接）

場面	スマホ	紙のメモ
会場に着いて受付まで	◯	◯
受付後〜控室	×（係員の指示で電源OFF。控室に入ったらOFFが安全）	△ 係員の指示しだい
面接室の前で順番待ち	×	△ 係員の指示しだい
面接中	×	×（メモ・写真撮影・録音は禁止）
退室後	△ 建物を出るまでは係員の指示に従う	◯

S-CBT（テストセンター）

場面	スマホ	紙のメモ
受付（集合時間）の前	○	○
受付後（本人確認→荷物はロッカー等へ）	×（会場の指示どおり預ける）	△ 会場の指示しだい
試験中（S→L→R→W）	×	×（配られるメモ用紙だけ。持ち帰れない）
終了後	○ 荷物を受け取ってから（会場の指示に従う）	○

S-CBTは集合時間（受付開始）の約15分後に試験開始（注意事項説明）。例：土日祝の午前は集合9:00・開始9:15。スマホを見られるのは受付前まで。時刻は自分の受験票が最優先。

★ だから、最後の1枚は紙で持っていく
教室でスマホは見られない。でも紙なら、説明が始まるまで見てよいことが多い。このサイトの印刷用PDFを1枚カバンに。廊下でスマホを切ったら、そこからは紙が相棒。

準会場（学校など）は時刻もルールも違う。学校の案内に従おう。

直前カード

- **身分証は顔写真付き原本**　二次も顔写真付き身分証の原本が必須。コピー・スマホ画像・デジタル学生証はNG。二次受験票と一緒にすぐ出せる所へ。
- **控室に入ったら電源OFF**　携帯電話は係員の指示どおり電源を切ってしまう。ここから先は、このカードの中身を頭の中でくり返す。
- **第一声で声量を決める**　ドアを開けたら自分から Hello.。この声の大きさを最後まで基準にする。（May I come in? / Hello.）
- **カードは Here you are.**　面接カードは相手が読める向きで、ひと言そえて渡す。座るのは言われてから。（Here you are.）
- **黙読20秒は目印探し**　タイトル → by doing so などの目印 → その前の such / this が指す中身、の順に見る。メモはできないので頭の中で。
- **音読はタイトルから**　タイトルを読んで1拍おき、本文へ。速さより区切り。ふだんの8割の速さで語尾まで読む。
- **長い主語のあとで切る**　動詞の直前・接続詞や関係詞の前・by doing so の前後で区切る。区切りの中はつなげて読む。（Elderly people who cannot drive / often find it difficult ...）

- **No.1 How は By ~ing**　目印の前の動詞を ing にして、後ろは最後まで言う。本文の丸読みはしない。（By offering free study rooms to students who ...）
- **No.1 Why はBecause＋主語**　so / therefore の前が理由。Because のあとに主語＋動詞の文を置く。主語を落とさない。（Because they have trouble finding young workers.）
- **such / this は戻す**　答えに such ~ / these ~ / them が入っていたら、前の文の中身に戻して who / which でつなぐ。（such students → students who find it hard to study at home）
- **No.2 1文目はカードのまま**　最初の文は一字一句カードどおりに読む。そのあと1コマ目の吹き出しで2文目。
- **矢印の語句は文頭**　2・3コマ目の最初の文の頭に、矢印の語句をそのまま置く。動作は過去進行形で。（A week later, a delivery worker was bringing ...）
- **吹き出しは間接話法**　Let's → suggested ~ing、Please → asked 人 to ~、will → would。考えの吹き出しは下の形で。（He was thinking about going to the beach.）
- **裏返したら顔を上げる**　カードを伏せたら会話モード。No.3・4は面接委員の目を見て、はっきり答える。
- **No.3は I agree. から**　Some people say that ~ には Yes / No ではなく I agree. / I disagree.。そのあと理由2文。（I agree. [理由]. For example, [具体例].）
- **No.4は立場→理由2文**　Yes, I do. / No, I don't. のあと Why? / Why not? が来たら理由2文。自分から続けてもOK。（Yes, I do. [理由]. Also, [理由・例].）
- **理由のストック7つ**　お金・時間・健康・安全・環境・便利さ・人とのつながり。迷ったらこのどれかに当てはめる。
- **聞き返しは質問の直後**　聞き取れなければ、考え込む前にすぐ聞き返す。本当に必要な時だけ使う。（I'm sorry, could you repeat the question?）
- **沈黙は Let me see.**　3秒以上黙らない。考える間も英語でつなぐ。日本語の「えーと」は出さない。（Let me see. / Well, let me think for a moment.）
- **ドキドキは I'm excited.**　緊張を消そうとしない。心の中で I'm excited. と言って、体が本番モードになったと受け取る。
- **ドアを閉めるまで面接**　カードを返す Here you are. と、最後の Thank you very much. Goodbye. まで、背筋を伸ばしたまま。